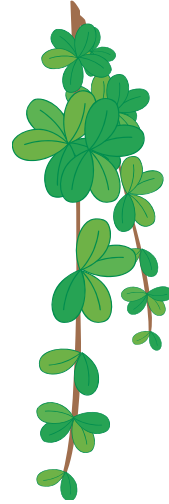


10月の緑化

ワンポイントアドバイス



お彼岸を過ぎ、やっと涼しくなってきました。水やりは少なくなります。
ただし、乾燥が続く場合は、たっぷりあげてください。

この夏は、高温乾燥が長く続き、このような年は松枯れが多発する傾向があり注意が必要です。松枯れ対策を徹底してください。

毛虫などの病虫害もまだ活動中です。防除を行ってください。

秋の剪定が始まります。

常緑樹は樹形を整える程度の弱い剪定をします。

落葉樹は落葉後に行うと良いでしょう。

剪定の際、花芽には注意してください。

牡丹などの移植適期を迎えます。

昨年は松枯れが多発しました。

今年も多くの発生が予想されますので、松枯れ対策を徹底してください。

~~マイマイガの卵の駆除について（お願い）~~

マイマイガの大量発生が予想されます。

「マイマイガ」は成虫になると駆除が難しいため、卵や幼虫の段階で防除することが重要です。

☆マイマイガの特徴・生態☆

樹の幹や、建物の壁、建物の基礎（特にコンクリート部分）軒下等（雨どいの裏や見えにくい場所にも産卵します）に黄褐色のマユ状の卵を産み、卵の状態越冬し、5月頃にふ化（毛虫）します。

7月から8月に成虫（蛾）になり、夜、街灯などに集まり卵を産みます。成虫の寿命は1週間程度といわれています。

（マイマイガの卵から成虫まで）

（卵）



（卵2）



（幼虫）



（成虫）



～～サクラのてんぐ巢病が多く発生しています。～～

◎サクラのてんぐ巢病について・・・

最近、サクラの枝にてんぐ巢病をよく見かけます。

この病気は、胞子が空気中を拡散して感染が広がります。

手が入らない場所では感染が広がり、手がつけられない状態になり防除が困難になります。

防除方法としては、薬剤による防除は難しいため、早期に切除し速やかに焼却処分などする他ありません。

切除した切り口には、殺菌癒合促進剤を塗布し、使用したノコギリなどは、消毒処理してください。

5月以降は、感染拡大時期になるので、この時期の処置は切除した羅病部を孢子が拡散しないよう、速やかにビニール袋へ入れ密閉するなどの注意が必要です。

作業適期は、落葉休眠期の12月から3月になります。

わからないこと、詳しく知りたいことがありましたら、緑の相談所の樹木医までお気軽にご相談ください。

